

第2回 東部の交通を考える意見交換会 開催概要

1. 開催概要

- 【日時】 令和3年10月16日（土）9:30～12:00
 【会場】 JAならけん 奈良東部支店 2階 大会議室
 【目的】
 ・バス路線を維持するための利用促進に繋がる意見交換
 ・地域住民の移動ニーズにあったバス路線の再編をするための意見聴取
 【内容】
 ・6地区に分かれてグループワークを行った。
 ・第1回意見交換会以降に路線バスを利用した人、利用しなかった人、それぞれの意見や感想を出し合った。
 ・奈良市から今後のバス路線の再編（素案）について説明を行い、意見聴取を行った。

2. 参加者

東部6地区（田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬）の連合会長等の代表の方々が参加

地区	参加者	ファシリテーター等
田原	6名	2名
柳生	6名	2名
大柳生	6名	2名
東里	7名	2名
狭川	6名	2名
月ヶ瀬	4名	2名
合計	35名	12名

3. 意見交換会の様子



4. 主な意見の概要

- 【バスを利用した人】
 ・通勤に利用したが、学生の頃の乗っていた時に比べて乗車人数が少ない。
 ・片道1時間半バスに乗りっぱなしなので、トイレや体調が不安になった。途中で休憩（降車）出来た方が良いと感じた。
- 【バスの必要性】
 ・学童保育の指導員をやっているの、子供の安全を考えると公共のバスの必要性を感じる。
 ・ケガをした時に利用したが、バスは具合が良いと感じた。
 ・障がい者の人が通勤に使っているが、バスがなくなると困る。
- 【バスを利用しない理由】
 ・運賃が高い。
 ・子供2人の定期代だと、市街地に家を借りるほうが金銭的にも時間的にも有利である。高校進学と共に、市街地へ転居する人がいる。
 ・用事を済ませて帰ってくるのにちょうどいい時間がない。
 ・バスダイヤが利用者の需要にあっていない（通勤・通学・買物・病院等）
 ・バス通学だと高校生はクラブ活動が出来ない（20時頃奈良駅発の便がない）
 ・バス＝不便という感覚なので、そもそも使おうと思わない。
 ・親が出勤、帰宅に合わせて子供の送迎をしている。
- 【バスの利用促進】
 ・バス停周辺に車や電動シニアカーの置場があれば利用しやすい。
 ・サイクリングが流行っているので、自転車も乗せられたらいいのでは。
 ・昔は新聞を運んでいた。荷物を運んだり利用できないか。
 ・観光など路線バスを使った地域の盛り上げ方を考えるべき。
 ・目的がないと利用しないので、目的を作る。
 ・ななまるカードの年齢引き下げを実施して欲しい。
 ・バスダイヤを表示した紙を町別に配布して貰えればありがたい。
 ・停留所の時間表示を見やすく改良する。
 ・夜の便があれば、飲み会、部活、塾の帰りに使えるのではないか。
- 【その他】
 ・バスだけでなく、過疎化をどうするかを考えるべき。人口減少の中、利用者が減るのは当然である。市街化調整区域を撤廃する必要があるのでは。
 ・病院までのデマンドタクシーをやって貰いたい。
 ・車に乗れない人がどのようにしてバス停まで移動するかが課題である。

5. 奈良市からのお知らせ

今後は、各地区ごとにヒアリング等を実施する予定です。